

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	海洋建築企画小委員会	主 査 名：関 洋之 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名：遠藤 龍司
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2015 年度：設計例の全体構成の立案・調整，設計例の選定 ・ 2016 年度：設計例初稿の作成 ・ 2017 年度：設計例 2 次原稿の作成 ・ 2018 年度：出版に向けた最終調整および講習会の実 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：関 洋之 (梓設計)、幹事：藤田 謙一 (千代田化工建設)、委員：遠藤龍司 (職業能力開発総合大学校)、後藤 剛史 (G T 建築工房)、桜井 慎一 (日本大学)、中西 三和 (日本大学)、野口 憲一 (近代建築保存技術研究室)、濱本 卓司 (東京都市大学)、増田 光一 (日本大学)、居駒 知樹 (日本大学)、黒木 正郎 (日本設計)、 佐々木 仁 (アラップ)、恵藤 浩朗 (日本大学)、松井 徹哉 (名古屋産業科学研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kaiyo/s0/index.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	海洋建築部門研究協議会「事例を通して海洋建築の計画・設計の特徴を考える」 参加者数 約 26 名 (資料名) 同上
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	日本建築学会「建築の未来への貢献—これから 10 年のビジョンと中長期計画— (案)」へのパブリックコメント (海洋建築本委員会と共同で検討)
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	全体構成の議論に終始し、立案・調整、設計例の選定まで進まなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	来年度は計画小委員会と設計小委員会との連携と、委員構成の見直しが必要と考 える。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。